

12.5 つどう3社縁アンケート抄-0. 私の社縁集団-

Facebook & Twitter (現X)「とある民俗学講師 (の補足メモ)」

* 社縁いろいろ：サークル（文化系、体育会系、パフォーマンス、ボランティア）、バイト、趣味、宗教、政治団体…

* 社縁の構造：目的、メンバー構成、活動規模、対外関係、制度化の程度…

* 社縁の絶望と愉悦：相対的に無根拠な秩序→疑似血縁化、疑似地縁化／実践共同体が産み出す親密さと排他性

【仲間】高1の時のクラスで、最も身長の高い女子4人で「ちいさいものクラブ」というものが結成され、今もLINEグループで頻繁にやりとりが行われている。大抵は誰かが、美味しいご飯とか、見かけた綺麗な花とか面白いものの写真をあげて、それに皆が反応する。全員富山市出身でありながら、今は京都・千葉・石川などに散っているが、ちょっとした日常のできごとを通して繋がりが感じられるのが楽しい。夏休みには4人で旅行に行く予定である。

【新入生サポート】京都大学生協学生委員会新入生サポート事務局に所属しています。学部新入生のために、新入生交流会や勉強相談会等のイベント実施、サークル大百科等の作成を行っています。私がなぜこのサークルに入ったかという、サークル内の人間関係の心地よさや就職の際のガクチカのためという理由もありますが、何より自身の原体験があるからです。私は札幌の非進学校出身で、入学当初何をすべきかなどの情報が全くありませんでした。そんなときに先輩方の勉強相談会とサークル大百科や他の冊子が、1回生の4月を乗り切る非常に大きな助力となりました。この経験から同じく困っている新入生を助きたいという気持ちが芽生え、現在このサークルに所属しています。

【人文系】龍谷大学の「歴史のなかで仏教をあきらかにする会（通称あきら会）」に所属している。そこでは、仏教という普遍宗教が日本においてほとんど普遍性を持ち得なかったことを問題意識としている人が多く集まっている。主に仏教史学専攻の学生有志により運営され、時宜に合わせて活動している。仏教に関心がある人ばかりが集まりそうにも思われるかもしれないが、そのようなことはなく、少しずつ仏教を理解しようとする営みである点も重要だと考えている。

【社会科学系】京都大学J地下にある京大INCに所属している。法学部サークル連合の一つであり、INC大会（大学対抗交渉コンペティション）で優秀な成績を残すことを目標に、仲裁や交渉を部内戦、対外戦、本大会を通して行うことが活動である。自分が魅力に感じているのは交渉である。大学の講義では法律や経営の知識を学ぶことはできるが、実際の企業活動では、一方の利益だけを追求すれば解決する問題はほとんどないはず。契約、経営戦略、企業文化、相手企業の事情など、様々な要素を考慮した上で双方に利益のある解決策を見つけることが求められる。INCでは、問題文に書かれた事実だけでなく、その背景にある企業の経営課題や将来のビジョンまで分析し、相手を説得する論理を構築することができる。このような実践的な思考を繰り返すことで、知識を使いこなす力を身に付けられると考えさんかしている。

【理科系】京都大学天文同好会KUALAに参加している。1964年に設立されたサークルで、京都大学を中心に京都工芸繊維大学や立命館大学など複数の大学の学生100人以上が所属している。活動拠点は京都大学の部室棟で、週1回の例会をはじめ、月1回の観望会や合宿、11月祭での手作りプラネタリウムの展示などを行っている。私が参加している理由は、星空を観察する楽しさに加え、大学や学年を超えた交流ができるからである。天文に詳しくなくても気軽に参加でき、共通の趣味を通して多くの仲間と出会える場として機能している。

【ホビー】インディーズゲーム「東方Project」の同好サークルに参加しています。京大、府立大、龍谷大、京都精華大などの人も参加しているインカレサークルで、活動はDiscordというSNS上でのやりとりの他、京大の文学部棟教室を借

りて週1回の例会を実施しています。普段は原作ゲームの攻略や原作BGMの鑑賞をしたり、二次創作ゲームを遊んだり、作品の世界観について語り合ったりしており、加えて年2回ほど、二次創作の同人誌を制作しています。制作した同人誌はNFで頒布される他、各地の同人誌即売会に会員が参加して直接頒布しています。私は現在、会員の同人誌制作を主導する編集係を担当し、センス溢れるイラスト・漫画・小説・音楽アレンジなどを形にして発表する役割に、非常にやりがいを感じています。即売会での同人誌頒布を通じて遠方の同好の士と直接交流できることも大きな魅力です。

【パフォーマンス】京都市を拠点に活動するよさこいチーム「彩京前線」に参加している。大学生を中心に構成され、祭りやイベントでの受賞を目標に、週数回の練習や演舞制作を行っている。私は道具班に所属し、演舞で使用する旗や幕などの制作・管理を担当している。活動では踊りだけでなく、演舞全体の演出やチームづくりにも携わることができる点が特徴である。私が魅力を感じるのは、一つの作品を全員で作り上げる達成感を味わえることと、学年や大学を超えた多くの仲間と交流できること。また、道具班長として責任ある役割を任せられ、自分自身の成長にもつながっている。

【スポーツ】1回生の頃、新しい挑戦を求め、運動部未経験ながら雰囲気の良いさに惹かれてアーチェリー部に入部した。現在は選手として試合への出場を目指し練習に励む一方、大学代表として関西圏(京都・大阪・兵庫が主)の大学アーチェリー部を統括する「関西学生アーチェリー連盟」の委員を務めている。各校から1、2名が集まり、試合の設営や審判などの運営を行う組織である。活動の魅力は、全員で協力して大会を作り上げる一体感だ。さらに、審判業務を通して上手な選手のプレーを間近で見て学べる面白さもある。裏方として大会を支え、多角的に成長できる環境に魅力を感じている。

【ボランティア】京都府警の学生防犯ボランティアに参加しています。府警主導の下、「学生だからできること」というモットーを掲げ、防犯活動、特殊詐欺防止のための啓発活動を行なっています。周りのメンバーは警察官を目指して参加している人が多いですが、私はたまたま先輩の勧めで入ったところ、活動を通して出会える沢山の人たちや警察の方と貴重な経験ができ、今は私の居場所の一つになっています。今年一年は幹部もやらせていただいて、非常に良い経験です。

【オンライン】地元(中国山東省済南市)のオンライン婚活コミュニティに参加している。同じ地域に住む独身者同士が交流するためのグループです。私は現在28歳で未婚・子どもなしの状態ですが、故郷の伝統的な価値観においては、この年齢で独身であることは珍しく、両親や親族からの期待に応えるために参加しています。私がこのグループの活動に魅力を感じるのは、多様な背景や価値観を持つ人たちと出会えることにあります。しかし、実際に様々な個性豊かな人たちと交流を重ねるうちに、むしろ「今はまだ結婚や子育てをする時期ではない」という自分の考えが強まってしまいました。

【ファンダム】私がボランティアとして十年以上参加していたのは、アメリカ、シアトルの『サクラコン』であった。主催はアジア・ノースウエスト文化教育協会(ANCEA)。毎年、桜が咲く季節の復活祭の週末、シアトルの中心にあるコンベンション・センターで三日間にわたり開催されるポップカルチャー・イベントで、アニメやビデオゲームのキャラクターに扮したコスプレイヤーたちが全米から集まり、毎年、延べ三日間で約三万人が参加する。コンテンツ企業などではなく「ANCEA」という非営利のボランティア団体(ファン)によって運営されている。「ファンの、ファンによる、ファンのためのイベント」というコンセプトが徹底されており、スタッフも全員ボランティア。この手作り感と熱意がそのまま数万人規模に膨れ上がった構造は、日本の「大学の巨大な学園祭」に近いマインドを持っている。私はこのサクラコンで、日本からのゲスト出演者たちのアテンドをしていた。コンサートに出るミュージシャンや、ファッション・ショーを開くデザイナー、有名なアニメの作者や、声優、映画監督など、毎年違ったゲストたちのスケジュール調整が主な仕事だった。イベント開催日には、アテンドや各種手配を担当。イベント前後には、ゲストたちをシアトル近郊に連れて行って、野球の試合に引率したり、美味しいワインを飲み、魚介類をたらふくご馳走して、自分もお相伴にあずかるのが楽しかった。